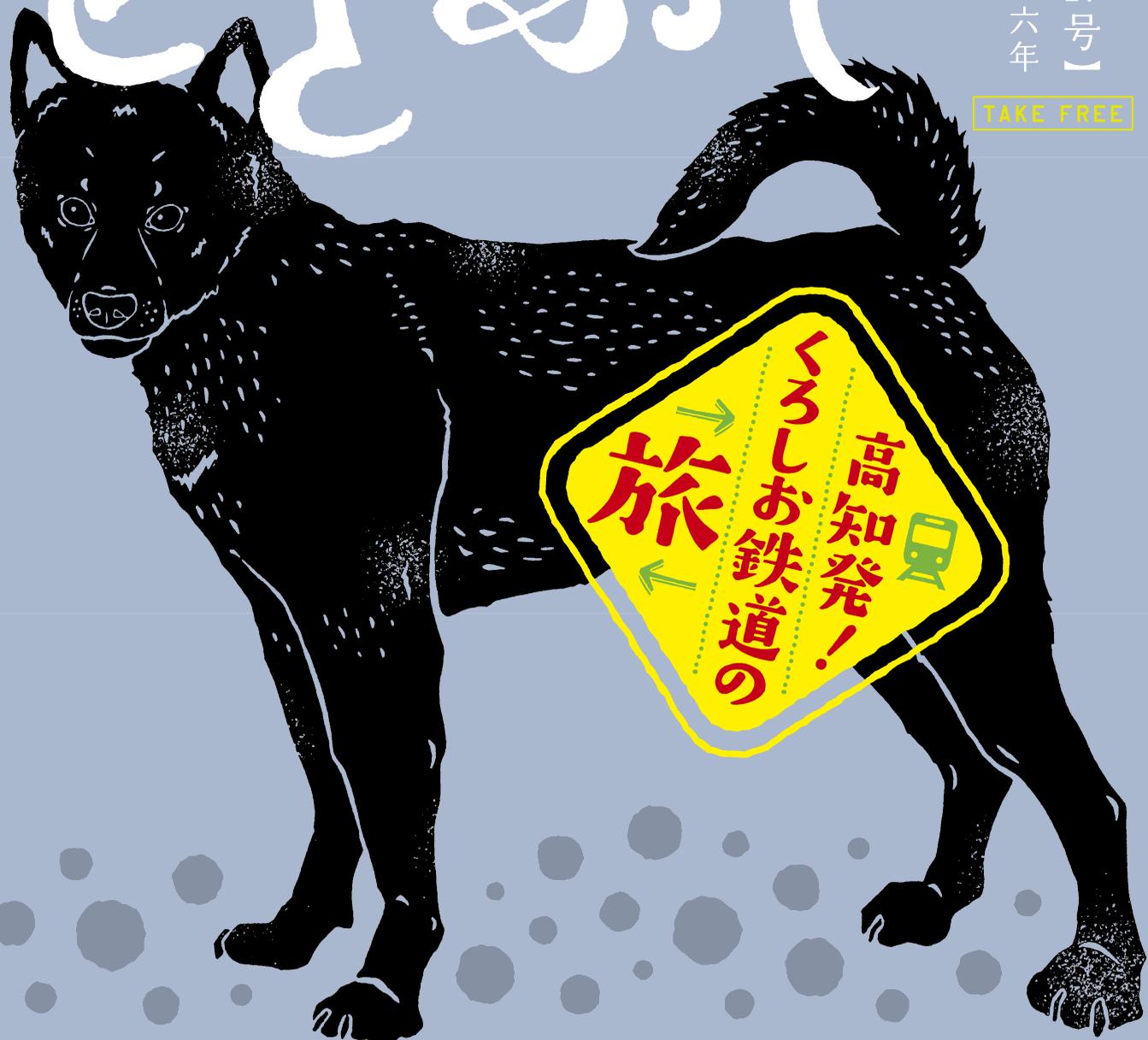


こうち、(再) (新) 発見!

TOSABUSHI

# とさぶし



高知発! 高知鉄道の旅

高知県は、ひとつの犬家集まる。



高知家

【第17号】

二〇一六年

TAKE FREE

目次

特集 ぶらり くら鉄

せがれ 立田昌敬(立田グループ)

ゆる土産 駅前で見つけたお土産

列車でほろよいGO

とさぶし調査隊! ブーシーズ 五台山ロープモノレール

TOSABUSHI とさぶし 第17号 2016年

はみだし企画満載! web限定コンテンツ

web版 “あだてん”  
<http://tosabushi.com>



facebookもやってます!

<http://www.facebook.com/tosabushi>

発行 高知県文化生活部文化推進課

〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号(本庁舎5階)  
Tel 088-823-9793 Fax 088-823-9296  
E-mail 140201@ken.pref.kochi.lg.jp  
発行日:2016年12月24日(季刊)

企画 とさぶし編集委員会  
制作 南の風社

バックナンバーの入手方法

お近くに配布先がない場合は、送料分の切手を送っていただくと、受け取り次第発送をいたします!

【送料】

1冊・2冊 180円

3冊 215円

4冊・5冊 300円

6冊以上の場合は、一度ご連絡ください。

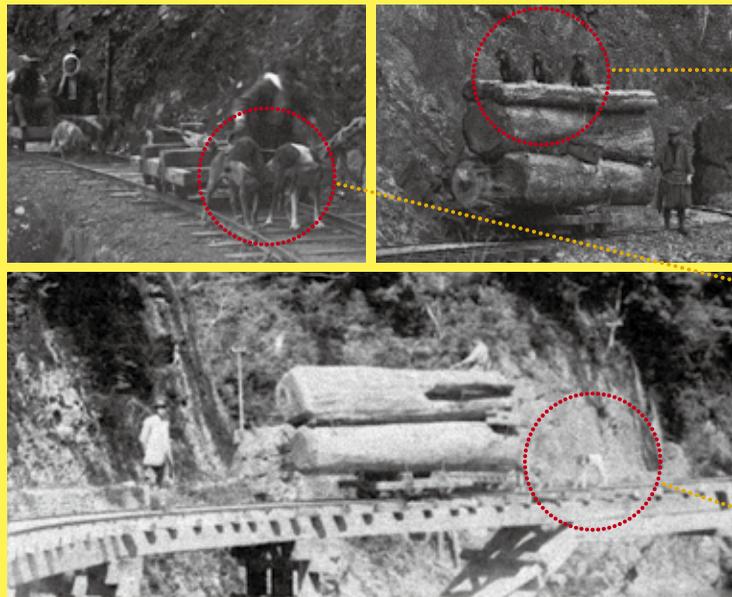
お問い合わせ・送付先は、高知県文化生活部文化推進課(上記)まで。

地犬:高知県にもともいた、本川犬、幡多犬などは現在、四国犬と呼ばれる。本川から直線距離で10kmほどの愛媛県上黒岩岩陰遺跡では、ていねいに埋葬された中型犬の骨が発掘され、縄文時代から犬が飼われ、狩猟などをしていたと考えられている。気性の激しい土佐の地犬と、大型の洋犬を掛け合わせた犬が、「土佐闘犬」とされている。



このパンフレットは宝くじの収益金の一部で作成しています。

上左：空のトロッコを引く犬。上右：丸太の上に乗る犬（四国森林管理局所蔵）  
 下：トロッコの後についていく犬（高知市民図書館寺田正写真文庫所蔵）



column **各地で活躍した犬**

魚梁瀬以外でも犬が活躍した。  
 大原富枝の小説『父の青春』（『吉野川』所収）には、「家の前を終点とする森林鉄道のレールが走っている（略）。単線のレールの上を、夕方はトロッコが二台連結されて、山の様に高く木材を積んでゆるやかに走って来た。動力は何も使用されていないで、自然の勾配のままに敷設されているので、緩やかなレールの勾配にしたがって下りてくる。上りには二匹の大型の洋犬が主人の運転手の後押ししてもらいながら、トロッコ一台を曳行する」とある。  
 『ふるさとメモ』(本山町教育委員会)の「犬関車のこと」の項には、「山へのトロッコは『エス犬』と呼ばれる、大型犬によって引かれており普通の『エス犬』は2頭で引っ張っていた。しかし、優秀な『エス犬』は、1頭で間に合っていたと言う。小牛ほどもある立派な『エス犬』は、人間1人分の仕事をこなし、人間に負けないほどの賃金を得ていたらしい」とある。\*原文のまま引用



# 犬も支えた森林鉄道

明治時代から大正時代にかけて、高知県の森林鉄道では犬がトロッコを引いていた!!  
 森林鉄道の「本線」にも、まるで毛細血管のように山奥の隅々に伸びた「支線」にも、力持ちで身軽な犬がトロッコを引く鉄道の風景があった。

ここは魚梁瀬森林鉄道。山奥で切った木をトロッコに乗せて、ゆるやかな傾斜のレールの上を人間がブレーキをかけながら木の重さでゆっくり下つていき、貯木場へ集める。その後、空になったトロッコを山の上に持っていくために、犬が活躍した。  
 この写真を掲載した『森林鉄道物語』(馬路村教育委員会)

によると、犬は足が太めで長くなく、洋犬と秋田犬や地犬との雑種で、土佐犬は力があっても根気がなく、不向きだった。ただし、犬の経費はバカにならず、安芸・伊尾木森林鉄道の犬の総頭数は約百五十頭おり、機関車の運転手の日給二円ほどを加えた機関車の年間費用三千円をはるかに上回っていたという。

魚梁瀬森林鉄道の五味隧道の前で撮られた写真。大正時代、『高知大林区署写真帖』の収録のために撮られたせいで、下り方向に向かって撮られている。(四国森林管理局所蔵)



# 窪川駅

Kubokawa

霧の立ちこめる台地の町



案内人 四万十市市代表 井上義之さん

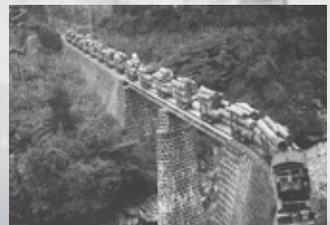


# ぶらり ぐるり 鉄

## 生活と人を運んだ森林鉄道

安芸管内で運転手をしていた小松定男さん(81)は、森林鉄道が廃線になる1962年までの12年間、徳島との県境・奥別役(おくべつやく)から、東川(とうがわ)を通過して終点の伊尾木(いおぎ)まで、約60kmの道のりを約6時間かけて木材を運んだ。トロッコを20台連結し、その後ろには客車。一命の補償はしない」という前提だが、多い日には100人ほどが乗った。「材木や医薬品の販売人、行商人に、郵便屋、大人も子どももどっさり乗る。これに乗ってお嫁さんに行く人もあったことよ」。森林鉄道は木材だけでなく、生活必需品、地域の人の人生も運んだ。

やがて軌道が道路にとって代わると、小松さんは機関車を降りて大型トラックの運転手となり、木材を都市部へ運んだ。



小松定男さんが運転していた機関車(本人提供)

### そして現代へ

産業と深い関わりを持ちながら、高知県のレールは広がり続ける。明治後期の1904年、堀詰―乗出(現・クランド通)、梅ノ辻―棧橋間に軌道が敷かれ、高知の町に初めて路面電車が走った。4年後には伊野町まで延長し、当時、重要な輸出品だった和紙を高知港に運んだという。1924年には、須崎―高知間に高知線(現・土讃線)が開通。同年、高知鉄道(現・とさでん交通)の後免―手結間が開通し、その後、安芸まで延伸し1974年まで走っていた。

1965年、国鉄新線として安芸―田野間が着手されたものの国鉄の財政難でストップ。2002年、およそ37年をかけて、高知で最も若い鉄道「ごめん・なはり線」が開通した。運営の主体は、県や沿線自治体主導で設立された「土佐くろしお鉄道」に引き継がれた。

1951年、土讃線の終着駅として開業した窪川駅。1963年には中村線の土佐佐賀駅までが開通し、1974年には一駅先の若井駅から愛媛県宇和島に抜ける予土線がつながり、県西部の中継地として活気づいた。

標高約220mの高南台地にある窪川は、古くからフロンティアスピリットのある人たちが新田開発に尽力し、県内多数の米の産地、畜産の盛んな地域である。

窪川で生まれ育った井上義之さん(41)の案内で、「伝説」が残る町を歩いてみた。



### 町道が空中に!

駅前にはデーンと役場の新庁舎。あれ、鉄道のレールまたいいますよね!? そうなんです。駅の西と東に庁舎があって、歩道橋で渡れます。実はこれ、世にも珍しい空中の町道なんです。エレベーターも24時間稼働していて、いつでも誰でも通れます。

窪川の町はわりとコンパクトで、駅前からゆっくり歩いて20分、30分で主要な場所を回れるんです。歩道橋を渡って、JAの直販所「みどり市」で窪川の産品を探すのも楽しいですよ。

### エンコウ秘伝の薬伝説

駅前通りのある武田金草堂は800年

**遊び場だった塩屋の浜**

佐賀の自慢のスポット、塩屋の浜。

佐賀は遠洋漁師が多く、船は何か月も帰ってこないの、遠洋漁師の妻は何年経っても新婚やうて言うてたなあ。

**漁師と鹿島様**

佐賀の名所といえば、湾内に浮かぶ小さな島、鹿島。島の中央には「鹿島様」が祀られていて、カツオ船が出港する時は汽笛を町中に響くほど大きく鳴らすんです。

佐賀は遠洋漁師が多く、船は何か月も帰ってこないの、遠洋漁師の妻は何年経っても新婚やうて言うてたなあ。

1963年に開業した土佐佐賀駅。当時は中村行きバスの乗り換え駅だったが、鉄道が中村へ延伸した7年後からは無人駅となった。そして、1993年に佐賀公園駅、2003年には海の王迎駅の新しい駅も生まれた。土佐佐賀から浮輪まで太平洋が広がる爽快な沿線となっている。

# 土佐佐賀駅

Tosasaga



案内人 地域おこし協力隊 浜岡満さん



自然循環型水処理システム：水田の水浄化機能を手本に、本来自然が持っている物質循環の仕組みを活かした新しい水処理システム。河床の下に何層かに分けて、木炭や枯れ葉、石など自然素材を加工した充填材を配置し、微生物によって水をきれいにしている。このシステムは、四万十町内に13基設置されている。

※ぼっちり：ちょうどよい

① 窪川は田んぼが多いから、水がきれいなのはいいですね。

② 四万十川の清流、霧の発生、昼夜の寒暖の差などの条件が重なり、江戸時代から米どころとして有名だったんです。酒屋も9軒あったそうです。

③ この道、だから歩くにぼっちりですね。横は川ですか？

吉見町商店街の側を流れる琴平川、実はすごいんです。これは四万十方式と呼ばれる浄化システムで、かつてはガスが発生するほどひどい状態だったんですが、この浄化槽を設置してから、匂いも汚れも気にならなくなりました。

秘伝薬エンコウ物語：長井対馬守が、自分の馬を川に引き込もうとしていたエンコウの腕を刀で切り落とした。その夜、エンコウが現れ、腕を返してほしいと泣いて頼むので、長井は腕を返す代わりに、手をつなぐ秘伝を授かったということです。現在も「かわづの薬」として活血湯を販売しています。(武田金草堂 武田忠さん(69))



の歴史があるとも言われ、今も「エンコウ」に教わった薬について記された古い秘伝書が残っているんです。打撲に効く「活血湯」は今もちよくちよく出ているとか。

④ 伝説の薬が今も使われているとは……。

武田さんは調剤された薬を売るだけでなく、自社で調剤した痛みどめや風邪薬などを販売しています。中でも「咳どめ」は愛用者も多いんです。

## 町を流れる水路の秘密

⑤ 龍馬が暗殺された時、真っ先に駆けつけ、瀕死状態だった中岡慎太郎から経緯を聞き出したのが谷干城。生涯をかけて龍馬の暗殺犯を追

## 岩本寺の七不思議

① ここは有名な四国霊場37番札所、岩本寺です。

岩本寺には弘法大師にまつわる謎が7つもあるんです。苦しんでいる妊婦さんを無事に産ませたり、年に何度も粟を食べたいという子どもの願いを叶えたり、屋敷に泥棒が入らないようにしてくれたり……。

② 弘法大師の伝説って各地にありますけど、7つは多いですね。

あらゆる苦しみを解決してくれる

## 熊本城を守った谷干城伝説

谷干城生誕の地です。西南戦争で、西郷軍1万5千人が熊本城を包囲した時、薩兵を一步も城内に入れず、50余日の籠城戦に耐えて城を守ったという話です。今も熊本城に銅像があります。



谷干城生誕地にある恵美須神社。

③ 確か、谷秦山の子孫ですよ。武市半平太と知り合って尊王攘夷運動に傾倒し、坂本龍馬を厚く尊敬していたとか。

龍馬が暗殺された時、真っ先に駆けつけ、瀕死状態だった中岡慎太郎から経緯を聞き出したのが谷干城。生涯をかけて龍馬の暗殺犯を追



土佐佐賀のカツオ一本釣り漁の船(19~200トン)は19隻あり、うち4隻が明神水産。カツオ船団の漁師は年末年始を土佐佐賀で過ごすため、12月から1月の間、佐賀の港に停泊する。運が良ければ、日本一のカツオ船を見ることができる。

④ 迷い込みそうな小路だらけですね。昔はもっと入り組んでたけど、路が広くなったり、空き地とかできたり、空き家を駐車場にしたり、なんか広々してる。

⑤ ちょっと町を歩いてみようかな。この浜はほんと昔から海水浴をしたり、流木とか貝殻拾いをしたりして遊んでいて、浜の向こうに見える丘を「佐賀のダイヤモンドヘッド」って呼んでた。あ、浜に川ができてる。岩がこつこつ出ててジオラマみたい。

⑥ カラフルな祠もありますね！

小さい祠に見えるけど、お盆には地域の人たちがお祭りをしているよ。豊漁や海上の安全を願う漁師が多いから、佐賀には祠や神社が多いのかも。



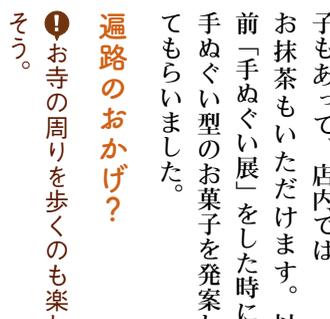
塩屋の浜



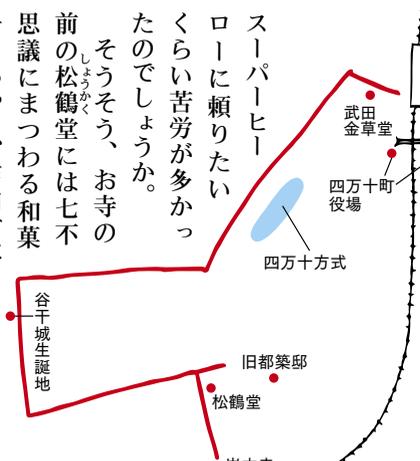
旧都築邸は古民家カフェ半平として、カフェやイベント会場として使われ、毎月第3日曜日はサンデーマーケットも開催している。

佐賀には明神地区や浜町地区、城山の下には会所地区がある。会所は、みんなが集まって会を開く「集会所」を設けたのがその名の由来とか。確か御奉行所跡の碑がある辺りが目印なはず。

⑦ 松鶴堂は、井上さんの友人でもある松岡幹幸さんの和菓子が並ぶ。



松鶴堂は、井上さんの友人でもある松岡幹幸さんの和菓子が並ぶ。



⑧ 88の札所の中で札所間の距離が最も長いのが、37番岩本寺から38番金剛福寺で、約94km。泊まるお遍路さんが多いので窪川が栄えたのかもしれない。窪川は幡多と伊予(宇和島)への分岐にある在郷町として栄え、その風情は「旧都築邸」にも残っています。

⑨ その上に家が建ってる！

このトンネル、子どもの頃はもっと薄暗くて気味が悪かったけど、なんかきれいになって雰囲気が変わった。照明もついて明るい。

⑩ あのカーブミラーの高さ、おかしくないですか？ 電柱注意の看板も低い。昔はこんな高さじゃなかった。新しい国道を造る時に、かさ上げしたんじゃないかな。国道と言えば、信号のあたりが水神坂で、下の淵が見下ろせる。淵は青くて、薄暗くて、まさにカップ



※アンダーパス：道路の下をくぐる形の立体交差のこと。

が棲んでいそうな雰囲気。  
 そういえば、佐賀の民話に「エンコウ」がある。夏はカッパで秋は天狗になるというリバーシブル説も聞いたことがある。カッパ伝説があるところにはカワウソの目撃情報があって、その先の



伊与木川もよく目撃された。  
**まるでカッポ神社？**

❗あ、神社だ。境内にプロペラが！本物？レプリカ？  
 ここは「天満宮」。看板には蘇我神社とも書いてあるね。プロペラは、明神水産が奉納したって記されているから、カッポ船のじゃないかな。秋の祭りにはここから御神輿が出て、港まで練り歩き、カッポ船団で鹿島まで運ばれる。手水舎にあるお清めの塩は地元の天日塩でしょう。



天満宮：さすが、カッポの町の神社。中にはカッポの絵や鹿島さんの絵などが飾られている。毎年GWには天満宮の前を流れる伊与木川で、鯉のぼりならぬ「カッポのぼり」の川渡しが楽しめる。

# 中村駅

Nakamura

時代と共に変わる商人の町



案内人  
 イチシクキカクデザイナー  
 寺尾 光加さん

1970年に開業してから宿毛駅ができるまでの30年近く、高知の西の終着駅だった中村駅。開業当時は古いSLSを利用したホテルもでき、駅前開発が相次いで行われた。

「土佐の小京都」と呼ばれ独特の「幡多文化」が根付いてきた中村の町は、通りや商店街にそのカラーを残している。中村で生まれ青春時代を過ごした寺尾光加さん(32)の案内で町を歩いてみた。

## 大正時代にできた赤鉄橋

私が生まれ育った大橋通一丁目。橋

## 山を崩してできた役場

今は四万十市ですが、1889年に中村が発足、1954年に中村市になりました。新しい庁舎を建てるために、大橋通に隣接していた天神山を切り崩したと聞きました。山に祀られていた天神様は一條神社に移されたそうで、役所の駐車場にはお地蔵さんが祀られているんです。

役所の駐車場を下りていくと、太陽館があります。昔は中村に4軒の映画館があったそうですが、畳の席もある大きな映画館で、最後まであったのがここ。中学生の頃、ここで『タイタニック』を観たのを思い出します。

## 念願のアーケード完成

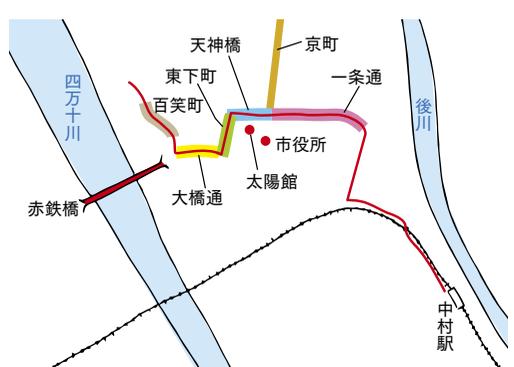
大正時代には、天神橋商店街の今はローソンがある辺りに橋があって、深い溝に水が流れていたそう。雨水と汚水のマンホールが続いてるあたりかな。



京町通り スーパー「てん」のなごり? レトロな喫茶店の看板



太陽館 市役所の駐車場にあるお地蔵さん



今あるガス屋さん、もとは炭屋さん。上流から運ばれた木炭を、下田の港で船に載せて大阪に運んでいました。燃料が薪になり、灯油やガスになりましたが、今も燃料屋さん、下田から出てきた人が多いと聞きます。

❗居酒屋やスナックの看板、書体がおもしろい。藤色のカラーが目立ちますね。

商店街の周りには、喫茶店や居酒屋、スナックがたくさん。特に栄町商店街の9割ほどが飲食店で、北海道のすすきのに匹敵するという人もいます。

## 郊外へ広がる新しい町

ほとんど畑だった場所に中村駅が開業して、駅周辺がにぎわうようになりました。

聞きました。大橋通北の、百笑町には船着き場があったとか。  
 ❗今は住宅街になっていてるんですね。他に思い出の場所はありますか？

小学校の通学路だった京町は、醤油屋さんや染物屋さんがある職人の町。一条通は、お魚屋さんやお肉屋さん、和菓子屋さん、花屋さんなどもある町の台所。天神橋は、おもちゃ屋さんや本屋さん、夏は土曜夜市もやってくる子どもたちのわくわくゾーン。中高生向けのセレクトショップや、叔母の画廊もあったので、学校帰りによく遊びに行きました。

一條神社の下には「てん」というスーパリーがあって、よくお菓子を買いに行っていたなあ。あらゆる町につながる大橋通は、人が動く動脈みたいな通りかな。



天神橋商店街：私の父が子どもの頃、昭和の初めは、ここに天神橋という橋があったというのが名前の由来です。天神橋商店街の店主たちが資金を出しあって、1969年に中村に初めてのアーケードができました。私たち息子世代が商店街に戻ってから1992年に開閉式に建て直して、アーケードも2代目です。(「寝装の太田」の大田文雄さん(58))



2011年に実施された四万十市商工業調査(中村商工会議所調べ)によると、四万十市の飲食業の44.5%がバーや居酒屋など夜間営業する飲食店。四万十市全事業者の7.7%に相当し、経済センサス(2009年基礎調査)のキャバレー、バー、ナイトクラブの全国平均(4.4%)と比べてもかなり多い。

❗駅前の幹線道路、広いですね。

昔は線路に沿って歩いて駅と市街地を行き来していました。昭和の終わり頃になって中村スーパーパーが百貨店「さつき」を開業し、愛媛資本のスーパード「フジ」も参入。四万十川河口側に宿毛に通じる橋が渡り、「右山」に店やホテルなどができました。対岸の「真向」には、マクドナルドやツタヤ、ユニクロなどが進出しました。2009年に中村宿毛道路が開通し、「古津賀」に商業施設が集まってきています。

❗変化はあるけど、町のカラーをしっかりと感じます。



中村駅

毎年7月の終わりの市民祭で地区ごと提灯台を出すんですが、「うちの地区が一番」っていうプライドを感じます。私たち大橋通は生バンドが売りで、フジロックフェスに出演経験のある若い人たちが「提灯台の唄」を演奏して、

# 東宿毛駅

Higashi sukumo

偉人を数多く輩出した港町



案内人  
宿毛歴史館  
伊與田 笑加さん

高知県最西端の町、宿毛市。古代の人は枯れた葦を「すくも」と呼んだというが、宿毛は葦が生い茂る湿原だったのでだろうか。宿毛は陸上移動の困難さから、海運が発達した。高知市から約150km離れた宿毛に鉄道が通じたのは、わずか20年前のこと。



真丁商店街：ここは宿毛で一番の商店街でした。昔は秋祭りに人波が押し寄せ、肩がぶつかりあうほどにぎわっていました。40年ほど前にアーケードができ、一時は、1坪100万円と地価も高騰するほどでした。昭和の終わりをピークにだんだんと店も住人も少なくなり、アーケードも老朽化したため、一昨年、取り壊して新しい街灯をつけました。(浜田隆紀さん(74))



町庄屋跡



はし拳発祥の地

## 商人のパワー

❗ 東宿毛駅で降りて、町の中心街は北の方角ですか？

宿毛は武士の町で、宿毛城跡の下には武家屋敷が広がっていました。その外側に町庄屋ができ、商人の町ができていきました。ここが真丁商店街です。この商店街の中ほどの町庄屋跡の隣は大黒屋で、「はし拳」発祥の地。九州の船頭から伝わった「薩摩拳」を元に、箸だけでなく石ころなんかも掴んで、その数を当てていたそうです。

❗ だからでしょうか、居酒屋が多いですね。あ、少し開けたところがある。

ここは、小野梓記念公園です。小野梓は大隈重信とともに早稲田大学創立に奔走した人物で、小学生にも人気なんです。この公園は最近整備されたんです。お向かいさんだったんですね。小野氏邸跡の隣には、政務を行っていた会所(現・文教センター)の中に宿毛で初めての小学校・講授館がありました。それまで勉強するところと言え



柄。桜は宿毛のシンボルで、桜町という町もあります。毎年秋に花火が打ち上がる宿毛祭りは、商店街にもぎわいます。小学生の頃、お祭りの時に水路に鯉がいるのを発見して、水路をたどって町を歩いたこともありました。堤防には今も当時の河戸樋管が残っています。

❗ 河戸樋管の漢字は右から流れている、字体も独特ですね。

堤防の反対側に行ってみましょう。宿毛の町が栄えたのは山内氏の入国以後で、土佐藩奉行の野中兼山が松田川



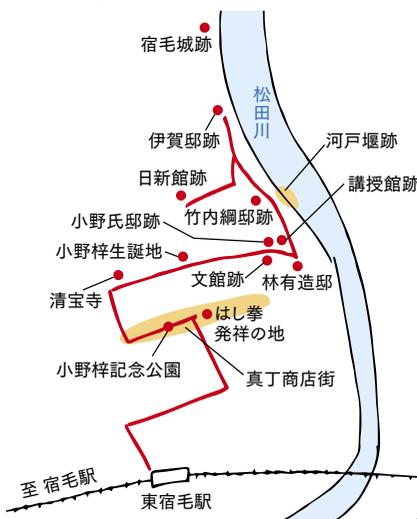
河戸樋管につながる水路

に堰を造り、町に水路を掘り、人びとが暮らしやすいように整備しました。兼山は高知県の各地でこういった公共工事を行っています。反感を買ってしまい、死後子どもたち8人は宿毛に幽閉されていたんです。河戸堰は2004年に改修されて、近代的な可動堰になりました。でも、ところどころ古い石積みが残っているのを見ることができ



河戸樋管

学びのパワー  
宿毛城跡の下は元領主の伊賀邸跡。今は宿毛保育園になっていますが、その隣



宿毛旧市街地図 (宿毛歴史館所蔵)



清宝寺の歴史：宝永4年11月4日(1707年)の大地震で宿毛は全滅。当寺の古い記録は津波で流され流失しました。後藤閑行(もんぎょう)が豊後より入寺して布教に尽くし、明治17年(1884年)小野義真が本堂、林有造が山門を一建立寄進して、現在のような立派な寺院になりました。境内には小野梓先生の記念碑があります。(清宝寺住職・清家允さん(72))

神橋には空き店舗が目立っていたのですが、チャレンジショップ事業もスタートし、今では11店のシャッターが開きました。楽器店、自転車店、ミシン店など、若い経営者の店も増え、にぎわいを取り戻してきています。



小野梓記念公園  
小野梓らは戊辰戦争に宿毛機勢隊として勝利した官軍側として参加したため、その後の明治政府においてたくさんの方が登用されました。しかし、梓はその位を捨てて、東洋館書店という出版社を創立。35歳で亡くなると同郷の坂本嘉治馬がその遺志を引き継ぎ、富山房という出版社を立ち上げました。『大日本地名辞書』や『大日本国語辞典』などを世に出し、宿毛には「坂本図書館」を造りました。

## まちづくりのパワー

❗ 旧バスセンターの角の交差点辺りは、水路の蓋が目立ちますね。

商店街のひとつ北はかつて水道町と呼ばれていました。マンホールは桜の

三宅大蔵が登用されるなど、多くの人々が受講できるようになりました。

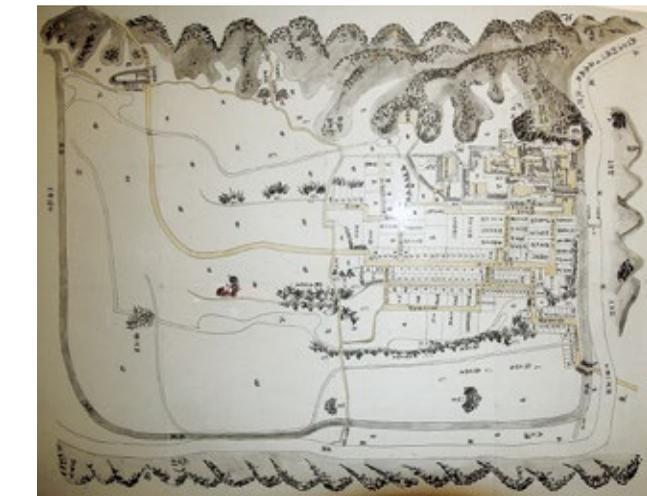
その後は、文館、日新館と、場所と名前を変えて学び舎は存続します。このような場があったからこそ、学識を得た人々が明治維新後、中央政界や実業界で活躍できたんだと思います。



講授館跡 林有造邸



宿毛城跡に続く階段



# 港の向こうに 世界を望む



人、物に乗せ、  
物流を支えてきた海の路。  
海に開けた高知から、  
未来の海運を描いていく。

立田グループ (立田回漕店 / 若宮汽船)  
立田 昌敬さん



## TOSABUSHI TRAIN

2017年春、土佐くろしお鉄道四万十くろしおラインに  
「とさぶし列車」が走ります。

1日限りの

# とさぶし列車

2017年4月8日(土)  
出発、進行!

窪川駅から宿毛駅までの  
特別列車「とさぶし列車」が運行

当日の朝、東京や大阪を出ても間に合うスケジュールを組んでいます。  
ぜひお誘い合わせの上、ご参加ください。

乗車券の金額や申し込み方法は、とさぶしWEBで随時発表していきます。

<http://tosabushi.com>

窪川駅、中村駅、宿毛駅など  
主要駅にはテントが立ち、  
「とさぶし」に登場した人たちが、  
食べ物やお酒を販売します。

「とさぶし」が登場した「あの人」も乗車!?

くろしお鉄道のおいしい食べ物とお酒が満載の  
「列車でおきやく!」!

町の案内人と駅前をぶらぶら歩く  
ミニツアーも開催!

西の海に沈む夕日。港には船のエンジン音が響いている。「幼い頃から、船は兄弟のような存在」と立田昌敬さん(34)。坂本龍馬の「海援隊」、岩崎彌太郎の「九十九商会」、大きくなってから、高知出身の先人が世界へ漕ぎだした歴史を知ると、胸が高鳴った。

### 港の総合代理店

高知県の西の玄関・宿毛。港のある片島地区は、もとは無人島だった。「宿毛の発展は片島に外港を造ることにある」と、廃藩置県後初代知事を務めた林有造らが宿毛―片島間に堤を造り、同時に道路として利用する工事を行い、1887年に中心部と結ばれた。

立田回漕店は、曾祖父・義衛さんが1924年、前身である宿毛棧橋株式会社を創業したことに始まる。業務は港湾運送業で、大阪から豊後水道、宇和島沖を通って日用雑貨などを積んだ定期船が港に着くと、自社の棧橋から貨物を受け取り、倉庫で保管し、地域に配送した。空になった船には木炭を詰めた俵を積み込み、阪神方面の消費地に運んだ。戦後は、パルプ材用の原木が主流になり、祖父・敬二さんが社長になった1951年頃からはセメントの輸送も増えた。多くの船が道路やダム

1960年代、宿毛の棧橋には大阪からの貨客船が着いていた。



など工事がある度にセメントの粉を樽に入れ、周辺の港に運ぶ。しばらくすると船に材をそのままばら積みして運ぶことが増え、最盛期は1日に何十隻という専用の機帆船が大坂周辺に行き来していた。

木炭は石油へ、木材は外材へ、日本の基幹産業が変化する一方、道路事情が改善されると、内航海運は陰りを見せるようになる。1974年、宿毛の船会社と合同で「若宮汽船」を創業。船と船員を所有し、内航船舶貸渡業として大手メーカーから国内輸送の請け負いを始めた。やがて立田グループとして港と船の両方を動かすようになった。

否か、長男としての責任を感じつつ、静岡県で手広く物流事業を手がける鈴与株式会社から内定をもらい、清水港の港湾事業部に配属された。

### 港から世界が見える

清水港にはひっきりなしに海外からの外航船がやってくる。船会社と船員たち、港で荷降ろしをする作業会社と作業員たちの間に立ち、入港のスケジュール、積み降ろしプラン、倉庫の管理など、全ての指揮をとるのが「フォアマン」。いわば港の現場監督の仕事を、立田さんは先輩たちから叩き込まれた。

翌年、スズキ自動車の主要工場がある御前崎港に異動。港からは月に2万台の自動車をヨーロッパや北米、中東など海外に輸出していて、正月も帰省することができなかつた。

2008年9月のリーマンショックをきっかけに需要が冷え込み、輸出産業は大赤字。御前崎から輸出される自動車もあつという間に4千台まで落ち込んだ。「これだけ左右されるのか……」。ゆっくり輸出が回復していたさ中、今度は東日本大震災が起こった。スズキの工場は浜岡原発の5km圏内。生産が海外工場に移され、港から輸出される自動車は8千台ほどに落ちた。



祖父・敬二さん(後列)と父・雅弘さん(前列右)。

### 故郷を離れて

立田昌敬さんは、5人きょうだいの長男。おっとりした性格で、小学校のテストの時、一問一問検算しながらじっくり解いて時間切れになることも。塾の先生には「ナメクジにブレーキをかけたようだ」と形容されてしまった。

高知市内の私立中学に進学し、親元を離れて寮生活を送った。中学3年生の秋、誘われるまま入ったコーラス部で、2つ上の先輩に出会った。「歌がうまくて、仲間づきあいや目上の人への礼儀を教えてくれる」。憧れの先輩や仲間たちと合唱に熱中する日々。合唱曲の「鴈」や「方舟」、指揮に合わせて、それぞれのパートの声が重なる。何度も練習を繰り返し、高校3年生で出場した四国大会では金賞に輝いた。進学した岡山大学では、指揮者も経験。「みんなの声をよく聴いてコントロールする役。指



宿毛市大島からの眺め

フォアマンになって6年が経った。作業員の手配や積み降ろしのプランニングなどを任せられ、社外の人たちとの関わりも増えた。物流や業界に理解が深まり、仕事に自信と誇りも芽生え始めた。慌ただしく一日が過ぎ、夕暮れの港に船のエンジン音が響いている。故郷の宿毛の港と重なった。「帰るなら今しかない」。

### 船の特徴を最大限活かす

2013年6月、立田さんの姿は宿毛港にあった。港に着く船の貨物の積み降ろしやクレーンの貸し出しを行う立田回漕店では港湾業務、船員を雇って船で貨物を運ぶ若宮汽船



立田さんがドローンで撮影した石灰石専用船の美林丸(左)。船の上部の蓋を開けると、1万トンの石灰石が積み込める。



セメント専用船の立昌丸(右上)。鋼材専用船(Ro-Ro船)のJET TOKYO BAY(右下)は鋼材を積んだトラックごと積み込める仕様。

揮次第でどうにでもなる」。責任とおもしろさ、その両方を噛みしめた。あつという間に卒業が近づき同級生は就職活動を始めるにもかかわらず、自分は進路を決めきれない。そんな時、父に勧められ、1年休学してイギリスに語学留学。「英語は習得できたけど、港の仕事をやっていただけるのだろうか……」。不安なままの帰国だった。家業を継ぐべきか



# 列車でほろよいGO!

course 1

JR ゴめん・なはり線編

なんといっても列車の旅は気兼ねなくお酒を楽しめる!  
途中下車して蔵元を巡り、蔵を見学したり、試飲をしたり、駅の売店や産直ではおいしいものをGet!  
ハンドルを手放して友達や家族と一緒に、高知駅を起点に、東へ、西へ。日頃の疲労一掃、間違いなし。



「やたらう号」  
奈半利行で出発!

どろめ祭りの大杯の酒のある  
高木酒造へ  
寄ってみよう。

あかおか駅から1駅歩いて  
ドルチェかがみの  
ジェラート食べよ!

ドルチェかがみ  
香我美駅東隣  
香南市香我美町岸本 417-1  
営業時間 11:00~18:00(火曜定休)  
TEL: 0887-57-3063

オープンデッキ車両から見える海岸線は爽快!



香我美駅から  
「しんたろう号」で  
さらに東へ。



View Point  
安芸川の景色も爽快!



View Point  
夜須駅を過ぎてトンネルを出ると広がるこの景色



伊尾木駅で下車して  
伊尾木洞を歩いてみよう!



道の駅田野駅の  
ソウルフード  
「玉子巻き寿司」

田野駅で地元産品を物色。  
玉子のお寿司、すりみ、  
お土産にいいね!



国道沿いの「輝るぼーと安田」内の  
「土佐の元気市」も、お総菜が充実。



奈半利駅の3階にある  
イタリア食堂トンノで  
晩ご飯。

イタリア食堂トンノ  
奈半利駅3階  
奈半利町乙1305-6  
営業時間 11:00~22:00  
(月曜定休、祝日の場合は営業)  
TEL: 0887-38-5569



2階レストランでランチもいいね!  
ガラス張り景色も最高。



安田駅から少し歩くと、  
蔵が並ぶ風情ある町並み。

南酒造場(南)  
安田駅から徒歩10分  
安田町安田1875番地  
TEL: 0887-38-6811  
●お酒の購入OK



新鮮な野菜や魚など地元産品は安芸駅「ちばさん市場」がオススメ。  
お総菜やパン、お酒の種類も充実!



仙頭酒造場(土佐しらぎく)  
和食駅から徒歩5分  
芸西村和食甲1551 / TEL: 0887-33-2611  
●試飲・お酒の購入OK



有光酒造場(安芸虎)  
赤野駅から徒歩10分  
安芸市赤野甲38番地1 / TEL: 0887-33-2117  
●お酒の購入OK



酒粕や梅酒で漬けたんだ  
「梅酒の梅」など、レアなものも手に入る。

高木酒造(豊能梅)  
あかおか駅から徒歩3分  
香南市赤岡町443 / TEL: 0887-55-1800  
●試飲・お酒の購入・見学OK ※蔵見学は2017年2月以降。

高木酒造の目の前にある「とさを商店」の「ちりめんおこげ」。ちりめんのお汁がきいたスープに、おにぎりの素揚げが最高! ここでは「豊能梅」も飲めるので、お酒のお供に。香南二らがたっぷり入ったぎょうざもオススメ!

とさを商店  
営業時間 11:00~18:00(不定休)  
香南市赤岡町476-4 / TEL: 0887-54-3235



ご当地グルメ!



後免の駅前で一杯、もいいねえ。  
後免の町で知らないお店を開拓しながら路面電車で帰っても。  
(最終便は21:01発 高知には22:23着)



INFORMATION ゴめん・なはり線1日乗り放題きっぷ 1,640円(土佐くろしお鉄道  
ごめん・なはり線の快速・普通列車が乗り放題です。JR土讃線は別料金が必要です。)

ダイヤは2016年12月現在。

View Point



5月には東宿毛駅から鯉のぼりが見える

View Point



View Point



旧浜口邸では、司牡丹の仕込み水を使ったコーヒーや酒粕プリンを提供している。佐川のお土産も充実。

旧浜口邸 (酒ギャラリーの隣)  
営業時間 9:00~17:00 (喫茶 10:00~16:00)  
佐川町甲1472-1 (月曜定休)  
TEL: 0889-20-9500 (さかわ観光協会)

江戸時代の風情を残す白壁の町並みを歩く。

酒ギャラリーほてい(司牡丹)  
佐川駅から徒歩 5分  
営業時間 9:15~13:00 / 13:45~16:30  
佐川町甲1299 (月曜定休) / TEL: 0889-22-1211  
● 試飲・お酒の購入 OK

出発!

しまんと1号で  
ビュンビュン飛ばす。

course 2

JRくわんしゅうろしおライン編

宿毛駅

18:02



駅前におしゃれなイタリアン発見!



ピザにイタリア産のビールがよく合う! ボトルワインもリーズナブル。

クチーナ パン  
宿毛駅から徒歩1分  
宿毛市駅前町4-13-7  
営業時間: 11:30~14:00 / 17:00~21:00 (月曜定休)  
TEL: 0880-63-5778

中村駅

14:59

駅前を歩いてサンリバー四十に行ってみよう!



中村の地酒・藤娘や三原村のどぶろく、幅多の果実を使ったリキュールも。ここでしか買えないスイーツに、お寿司やお惣菜、お土産もすべし!

物産館サンリバー四十  
中村駅から徒歩5分  
営業時間 8:00~19:30頃 (レストラン11:00~21:00)  
四万十市右山383-7 / TEL: 0880-34-5551

佐賀公園駅

14:28

太平洋がどんと見渡せる公園でのんびりピクニック。

窪川をゆっくり楽しむなら次の列車に乗りすると佐賀公園で追いつく。

クラフトビールにピオワインが豊富。買ったものは店内で飲み食いOK!



Booker's  
窪川駅から徒歩1分  
四万十町北琴平町2-4  
TEL: 0880-22-5530

窪川駅

12:08

文本酒造を訪ねる。秋から冬にかけては、酒造りの様子を見学することもできる。世界のビールが揃う駅前のBooker'sもおすすめ。



店の前のワンカッパの自販機がレトロでかわいい。

文本酒造(桃太郎)  
窪川駅から徒歩5分  
四万十町本町4-23  
TEL: 0880-22-0039  
● 試飲・お酒の購入OK  
蔵見学(4~5人、要予約)  
お土産にはミニサイズがいいね!

土佐久礼駅

11:26

久礼の町を歩いて、西岡酒造店でお酒、大正市場で刺身をGet! なんでも持ち込みできる休憩所「ぜよびあ」が便利!



西岡酒造店(久礼)  
土佐久礼駅から徒歩5分  
中土佐町久礼6154 / TEL: 0889-52-2018  
● 試飲・お酒の購入 OK

佐川駅

10:17



徳利とお猪口、カツオのかぶり物もかぶり放題!

高知駅

8:20



いっそのこと、宿毛か中村に泊まろうか。(最終便は19:16発 あしずり12号。高知には21:15着)



INFORMATION

四万十くろしおライン1日フリーきっぷ 3,900円  
(窪川駅から宿毛駅まで、1日全ての特急と普通列車が乗り放題。JR土讃線は別料金が必要です。)

掲載店の情報は、とさぶしMAPに全て掲載! 詳しくはとさぶしWEBへ。

# 「ぶしからの贈り物」

ご応募の際にはアンケートにお答えください。

プレゼントの応募は、1人1回とさせていただきます。ご了承ください。

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

応募締切  
2017年2月末



応募してね!

1 PRESENT

くろ鉄四万十くろしおライン  
1日フリーきっぷをペアで1名様  
窪川駅から宿毛駅まで1日乗り放題!



2 PRESENT

くろ鉄ごめん・なはり線  
1日乗り放題きっぷをペアで1名様  
後免駅から奈半利駅まで1日乗り放題!



3 PRESENT

くろ鉄沿線のお酒と  
つまみセット3名様  
とさぶし編集部がお酒とおつまみを  
厳選します。



4 PRESENT

しんじょう君の  
帽子1名様  
かぶればあなたもしんじょうくん!



5 PRESENT

サンゴくんキーホルダー  
7名様 どれがでるかはお楽しみ!



6 PRESENT

ごめん・なはり線キャラの  
シルエットてぬぐい2名様

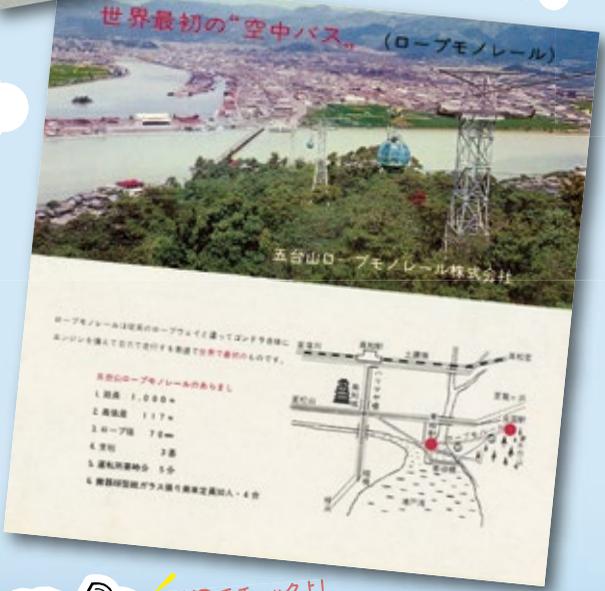


赤とグレーの2色、  
どちらが当たるか  
お楽しみ!

応募はWEBサイト <http://tosabushi.com>  
TOPページ「ぶしからの贈り物」から



(山本淳一さん提供)



DVDでチェックよ!

### かつて仮面ライダーのロケも!

このロープモノレール、仮面ライダーV3(1973-74放映)の第21話「生きていたダブルライダー」にも登場した。悪の組織・デストロンがロープモノレールに乗って移動する中、主役の風見志郎がゴンドラの上に乗る、あわや落ちかける、という激しいアクションシーンが見所だ。

# 五台山 Godaisan ロープ rope モノレール monorail

とさぶし  
調査隊!  
ブッシューズ  
投稿 其の八

ふ、こんなの  
あったがや



## ロープウェイのない高知県。 実は10年間だけ、五台山に自走式の モノレールが空中を走っていた?!

五台山といえば、牧野植物園や竹林寺といった観光名所が思い浮かぶが、昭和40年代、太平洋と高知の町が一望できるロープモノレールの終点が名所だった。

『世界最初の空中バス』が当時の触れ込み。

未来っぽい見た目の球形ゴンドラは、特殊ガラス製で31人乗り。座席下のディーゼルエンジン(130馬力)でロープ上の油圧モーター4台を動かして自走する。そのため、ロープウェイではなく、ロープモノレールと呼ばれた。

高知市東部の観光開発の一つとして五台山ロープモノレール株式会社が総工費1億8000万円をかけて、1969年に営業を開始し、青柳橋西詰―五台山山頂を結ぶ約1キロを約5分で運んだ。しかし、1973年の11万7000人をピークに利用者は減少。オイルショックによる燃料費の高騰と五台山山頂の道路整備で乗客が激減し、1978年に休止に追い込まれ、3年後に1700万円をかけて解体・撤去された。



ロープモノレールの支柱の上は展望台となり、名残惜しく存在している。終着駅にはカフェ「パ・ノ・ラ・マ」ができ、五台山からの風景を眺められる。